

年 頭 所 感

日本山岳写真協会

会長 橋本 勝

新年あけましておめでとうございます。

令和2年1月(2020)

旧年中は当協会の活動に特段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私達日本山岳写真協会は昨年、創立 80 周年を迎えました。山と自然に造詣の深い皇太子殿下が天皇陛下にご即位され、元号が「令和」に変わる改元とも重なり、感慨深い年となりました。8月31日から9月8日にわたり当協会展「2019-山・われらをめぐる世界」を上野、東京都美術館で開催しました。同展は陛下が皇太子殿下時代に 13 年連続で特別出品され、行啓も賜った由緒ある写真展として発展を遂げています。周年事業として開催した昨年は、会員作品と一般公募の入選作品合わせて 351 点を展示し、盛大な写真展となりました。記念写真集「美山彩嶺Ⅲ」は、有志の応募作品 560 点の中から選考し、国内外の山岳写真 229 点を収録する多彩な内容となりました。また、11 月には関西支部のご尽力により御在所岳での合同撮影会を行っています。

こうした周年行事や撮影会など多くの事業を成功させることができたのも、理事会を中心に審査委員や編集委員、各支部の支部長、支部会員をはじめとする、会員各位のおかげであります。本紙面をお借りして、御礼申し上げます。

当協会は昭和 14 年 12 月に東京山岳写真会として発足しました。山岳写真界の俊英として、不動の存在を維持できているのも先輩方のご尽力、関係機関のお力添えによるものです。自然と対峙する我々は、過去から現在に至る山容の変化にも気を配る任を負っています。気候変動に伴う様々な現象が起こるなか、環境変化に鋭敏な写真家集団でありたいと思います。

2020 年は 56 年ぶりに東京でオリンピックが開かれます。スポーツクライミングが追加種目として初めて採用され、日本選手はもちろん、当協会の総会等に欠かさずご出席いただいている八木原罔明日本山岳・スポーツクライミング協会長をはじめとする関係各位の活躍が期待されます。1964 年の東京五輪がその後の日本の発展に大きな役割を果たしたように、今回の五輪・パラリンピックも我々の将来に大きな意味を持つものと感じています。

「子年は繁栄の年」と言われます。十二支最初の干支でもあります。諸先輩方の教えを引き継ぎ、当協会の 90 周年、100 周年への確実な一歩になる年にしていきたいと思っております。

本年もよろしくお願い申し上げます。